

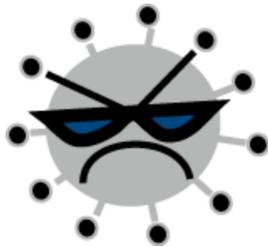


森田医院通信

Vol.10

2016年11月8日

インフルエンザ



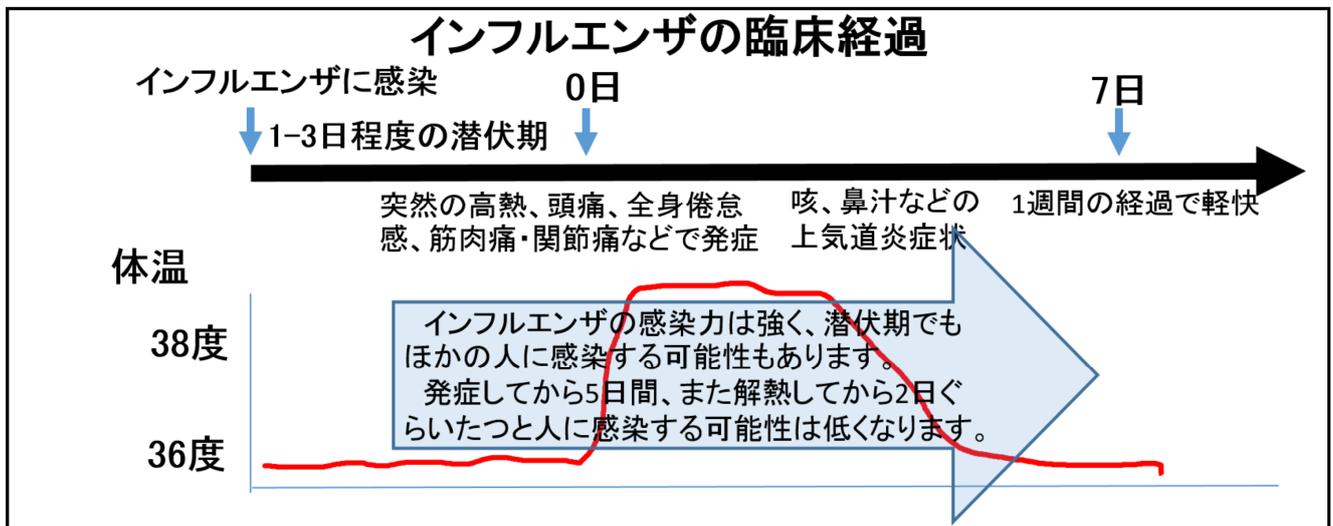
今年もインフルエンザの予防接種が始まっています。毎年いつものように流行するインフルエンザ。どんな病気か見てみましょう。

お知らせ

当院は建設されてから長い年月が経過し、老朽化や段差など構造的にご迷惑をおかけしている場所が多数あります。今後、随時補修工事を行ってまいりますが一時的に見苦しくなる場所もございますことご了承ください。

インフルエンザは、ウイルスを病原とする気道感染症という意味では「かぜ症候群」の一つです。しかしいわゆる「かぜ症候群」とは分けて考えるべき「重くなりやすい疾患」です。子供ではまれに急性脳症を、ご高齢の方や免疫力の低下している方では肺炎などを合併し亡くなる方もおられます。

インフルエンザをひとたび発症すると回復するまで約1週間程度かかります。



インフルエンザの予防

- ① 人込みを避ける
 - ② マスクを着用する
 - ③ 外出後のうがいや手洗い
 - ④ インフルエンザの予防接種
- などがあります

インフルエンザにかかってしまった場合

通学されている方は「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児は3日）を経過するまで出席停止（学校保健安全法施行規則）」と決められています。社会人の場合は職場ごとで定められた就業規則などに従うことになります。

無理な出席や出勤はインフルエンザの流行の原因になります。インフルエンザの予防接種をはじめ十分な予防対策を行い、それでもインフルエンザになったかな？と思ったときは無理な登校や出勤は控え医療機関を受診するようにしましょう。

インフルエンザワクチンについて

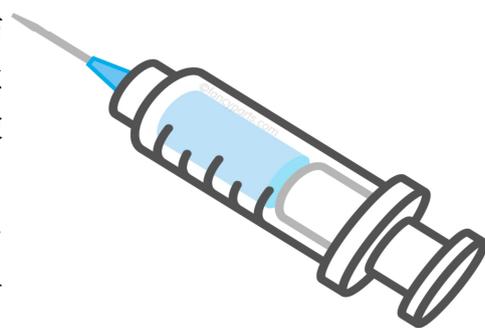
インフルエンザの予防接種は、発症や重症化の予防に有効であることが証明されており、特に高齢者ではワクチンの接種により死亡の危険を1/5に、入院の危険を約1/3～1/2に減らすことができると考えられます。

ところでインフルエンザワクチンはなぜ毎年接種なのでしょう？それはインフルエンザウイルスにも多くの種類があり、突然変異によって短い期間で同じワクチンでは効果のないような形になってしまうからです。つまり同じインフルエンザでも、ワクチンの型があっていなければ予防効果がないことになります。

インフルエンザは大きくA型B型C型があり、流行するのはA型とB型ですがさらにその中に多くのタイプが含まれていることが分かっています。

インフルエンザワクチンはその年に流行する型（タイプ）を国が予測決定して作られますので、国内で作られるワクチンはどのメーカーのものでも効果は同等です。本年度のワクチンにはA型株が2つ（A型カリフォルニア A型香港）とB型株が2つ（B型プーケット B型テキサス）の4種類が入っています。

ワクチンの効果が出るのは接種2～4週間後からですので12月中旬までには接種しましょう。



糖尿病ってどんな病気？ その2 血糖値

血液検査の結果を受けとった時、”血糖（グルコース）”はよく見かける項目ではないでしょうか。血糖値が高いと”糖尿病では？”と思う方も多いと思います。ではどのくらい高くなると糖尿病なのでしょう？

空腹時の検査では 110未満 126以上
正常型 境界型 糖尿病型

空腹時以外（随時）の検査では 200以上を糖尿病型とします

別の日に行われた検査で、糖尿病型が2回以上確認されたら糖尿病と診断されます。

このように同じ検査でも空腹時と随時ではずいぶん結果が異なります。検査を受けるときはできるだけ空腹時に受けるようにしましょう。

血糖値が空腹時の検査で110以上、随時の検査で200以上の方は注意が必要です。自身の検査結果が当てはまるようでしたら糖尿病の可能性があるのでご相談ください。

医療法人
森田医院

所在地：大阪府寝屋川市本町24-14 電話：072-821-0446
ホームページ：<http://www.moritaclinic.or.jp>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日 祝
9時-12時30分	○	○	○	-	○	○	-
17時-19時30分	○	○	○	-	○	-	-



受付は診察の30分前からです。シャッターは診察の1時間前に開きますので、診察券をお持ちの方は診察券入れに入れていただきますと順番をとらせて頂きます。